

「キング・フォレット説教からの抜粋」

預言者ジョセフ・スミス（1805 – 1844年）は次のように教えています。



「もし、人が食べ、飲み、眠ることの他に何も学ばず、神の計画について何も理解していないならば、それは野獣と同じです。野獣は食べ、飲み、眠ることだけを考えていて、神については何も知りません。しかし、もしわたしたちが全能者の靈感によって理解できなければ、野獣と同等の知識しか持っていないことになるのです。神の性質を理解しなければ、人は自分自身を理解することができません。……

わたしが第1に目指しているのは、唯一の、知恵あるまことの神の性質と、神がどのような御方であられるかを知ることです。……

神御自身、かつては今のわたしたちのようであられました。そして今は昇栄した御方であって、かなたの天で御座に着いておられます！これは大いなる奥義です。もし今日幕が裂けて、この世界を軌道上に保ち、あらゆる世界と

万物を御自身の力によって支えておられる大いなる神が御自身を現されたならば、わたしは申し上げますが、もし今日皆さんが神を目にしたならば、皆さんは神が人に似た形をしておられること、すなわち、体、形、姿が全て皆さん自身のものであることを知るでしょう。なぜなら、アダムは神の姿、形に、神にかたどって創造されたのであり、神から教えを受け、人が人と語り、親しく交わるように、神とともに歩き、語り、言葉を交わしたのです。」（『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』40）

「ですから、これが永遠の命です。すなわち、唯一の、知恵あるまことの神を知ることです。そして皆さんはどのようにして自ら神々となり、王となり、神に仕える祭司となるか学ばなければなりません。……低い階級から別の階級へ、小さな能力から大きな能力へ、恵みから恵みへ、高みから高みへと進んで行き、ついには死者の復活に達し、永遠の燃える火の中に住み、永遠の力をもって座に着いている人々のように、栄光のうちに座に着くことができるようになるのです。」（『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』221）

「キング・フォレット説教からの抜粋」

預言者ジョセフ・スミス（1805 – 1844年）は次のように教えています。



「もし、人が食べ、飲み、眠ることの他に何も学ばず、神の計画について何も理解していないならば、それは野獣と同じです。野獣は食べ、飲み、眠ることだけを考えていて、神については何も知りません。しかし、もしわたしたちが全能者の靈感によって理解できなければ、野獣と同等の知識しか持っていないことになるのです。神の性質を理解しなければ、人は自分自身を理解することができません。……

わたしが第1に目指しているのは、唯一の、知恵あるまことの神の性質と、神がどのような御方であられるかを知ることです。……

神御自身、かつては今のわたしたちのようであられました。そして今は昇栄した御方であって、かなたの天で御座に着いておられます！これは大いなる奥義です。もし今日幕が裂けて、この世界を軌道上に保ち、あらゆる世界と

万物を御自身の力によって支えておられる大いなる神が御自身を現されたならば、わたしは申し上げますが、もし今日皆さんが神を目にしたならば、皆さんは神が人に似た形をしておられること、すなわち、体、形、姿が全て皆さん自身のものであることを知るでしょう。なぜなら、アダムは神の姿、形に、神にかたどって創造されたのであり、神から教えを受け、人が人と語り、親しく交わるように、神とともに歩き、語り、言葉を交わしたのです。」（『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』40）

「ですから、これが永遠の命です。すなわち、唯一の、知恵あるまことの神を知ることです。そして皆さんはどのようにして自ら神々となり、王となり、神に仕える祭司となるか学ばなければなりません。……低い階級から別の階級へ、小さな能力から大きな能力へ、恵みから恵みへ、高みから高みへと進んで行き、ついには死者の復活に達し、永遠の燃える火の中に住み、永遠の力をもって座に着いている人々のように、栄光のうちに座に着くことができるようになるのです。」（『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』221）

